

【個人情報保護に関して】

当組合では、健診機関と厳しい個人情報保護に関する覚書を交わしております。使用目的を次の項目に限定し、外部には一切開示しませんので、念のためお知らせいたします。

- ① 検診機関に受託料を支払う上で、受診事実を確認する。
- ② 保健事業を行う上で全体の傾向を把握するための参考にする。

組合員の皆様へ

組合では、がんの早期発見・早期治療に資するため「大腸がん検診」、「子宮頸がん検診」及び「前立腺がん検診」の3項目の郵送検診を実施いたします。

ご自分で便や血液などを採取して送るだけで、簡単に受けられます。健康維持のため、ぜひこの機会に受けましょう。

東京都薬剤師国民健康保険組合

1. 申込

同封のハガキで、直接「健診センター」へお申込みください。

① 被保険者証の記号・番号を必ず記入してください。(本人確認のために必要です。)

② 組合に加入している20歳以上の方に限ります。なお、検査項目によって受診対象年齢が変わります。又、子宮頸がん検診は対象条件もありますのでご注意ください。

2. 検査項目 ※ 裏面に検査項目の詳細があります。ご覧ください。

* 大腸がん検診(20歳以上の方)

* 子宮頸がん検診(20歳以上の女性)

* 前立腺がん検診(50歳以上の男性)

※ 妊娠されてる方はご遠慮ください。

また、子宮頸がん検診は、補助の関係で2年に1回の受診となりますので昨年受診の方はご遠慮ください。

3. 検査費用

検査費用は無料。ただし、郵送料は自己負担となります。

4. 申込締切

2019(令和元)年6月14日 金曜日 必着

ハガキに62円切手を貼り、なるべく早めにご投函ください。

5. 検査キットの配布

申し込まれた方に、順次、自宅あてに検査キット一式を郵送いたします。

6. 検査キットの回収

検診機関の指示に従って検体を提出してください。

各検査ごとの返信に必要な切手を貼ってください。

* 大腸がん検診：82円 * 子宮頸がん検診：120円 * 前立腺がん検診：120円

7. 検査結果の通知

検体を提出後、3週間以内に本人あてに通知します。

【問い合わせ先】

一般財団法人 日本健康増進財団 恵比寿健診センター 浅草橋支部

〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-25-7

TEL. 03 - 5687 - 5531 FAX. 03 - 5687 - 5538 担当：鈴木

検査の概要は次のとおりです。

▶ 検査項目

▶▶▶ 大腸がん検診(1日法) 20歳以上の方全員

がんやポリープなど、腸の出血性疾患をチェック!

便に血が混じる・便が出切らない
便秘しやすい・下痢と便秘を繰り返す
などがある方におすすめの検査です。

検診で発見される大腸がんは早期がんが多く、早期に発見し治療すれば完治率の高いがんでもあります。



大腸がんキット

◆ 検査方法

便に付いている、肉眼では見えない微量の出血量が測定できるため、大腸がんやがん化しやすいポリープなどの早期発見につながります。専用採取容器のスティックで便の表面を少量こすり採っていただきます。専用容器に入れ、送り返していただくだけです。

▶▶▶ 子宮頸(けい)がん検診 20歳以上の女性

子宮頸がん・ほかの婦人病(トリコモナス、カンジタ膣炎など)もチェック!

病院に行くのが少し恥ずかしく苦手
妊娠に関係なく不正出血がある
おりものが多くなったなどの自覚
ある方にはおすすめの検査です。

子宮がんは、患者数が増え続け若年層にも増えています。女性の胃がん・乳がん
に続く罹患率の高い病気です。
早期に発見されれば比較的治療しやすい
がんです。



子宮頸(けい)がんキット

◆ 検査方法

専用の器具(スポンジ)で子宮腔部(子宮の入口付近)をこするように回転させます。試験管の保存液の中へスポンジをいれ、細胞を洗い出します。試験管のキャップをしっかりしめ、返送用封筒で送り返していただくだけです。

◆ 申込時の注意事項

- ・妊娠されている方はご遠慮ください。
- ・補助の関係で2年に1回の受診となりますので、昨年受診の方はご遠慮ください。

▶▶▶ 前立腺がん検診 50歳以上の男性

初期には自覚症状がでにくい病気をチェック!

排尿の違和感・切れが悪い
尿の勢いが悪い・残尿感がある
などがある方におすすめの検査です。

40歳以上の男性に急増している前立腺疾患であり、患者数・死亡者数の増加率は男性のがんの中で最も大きいものです。ただ尿道から離れた部分にがんが発生することが多いため、初期の自覚症状がでにくく、前立腺肥大と似た症状のため発見が遅れやすいことがあります。早期発見が重要な鍵になる検査です。



前立腺がん検診キット

◆ 検査方法

専用の器具(採血針)で指先から少量の血液を採取し、専用ろ紙に必要な量の血液を染み込ませます。血液中に含まれた成分(前立腺特異抗原: PSAの値)を測定し、がんやその他の疾患(前立腺炎・前立腺肥大症など)を調べます。

▶ 検診がどれだけ役立つか、ご存知ですか?

- * 大腸がんでは、 自覚症状があつて病院に行き外来で発見された大腸がんは3人に2人弱が進行がんでしたが、健診で発見された大腸がんは7割近くが早期がんです。継続受診者についても、ほとんどが早期がんです。
- * 子宮頸(けい)がんでは、 継続受診によって早期がんの発見率が高くなります。
- * 前立腺がんでは、 外来では進行がんが73%を占め、検診では39%と少なく、早期がんの発見が2倍強も多くなります。

